

開催日：①令和6年1月24日（水）

②令和6年1月28日（日）

会場：①鍋横区民活動センター

②東京都立富士高等学校・附属中学校

## 神田川（寿橋下流～富士見橋上流）事業及び測量説明会 における主な質問回答及びご意見

### 【事業目的に関する質問】

質問1 環状七号線地下調節池ができたことによって、その下流域での水害のリスクは大幅に軽減されたと感じているが、その中で本計画を事業化する妥当性を知りたい。また、環状七号線地下調節池は今まで何回使ったのか？

回答1 環状七号線地下調節池は貯留量が54万m<sup>3</sup>であり、完成後は下流域での水害リスクは大幅に減ったところである。現在までに環状七号線地下調節池に洪水を取り込んだ回数は46回であり、平均すると年間で2回程度となる。本計画を事業化する理由であるが、平成に入り1時間に50mmを超えるような雨は増加傾向にあり、それに伴う水害も発生している。そのような状況の中で地域の安全度を上げるため、東京都区部では現在1時間に75mmまでの降雨に耐えられるよう河川の整備を進めている。このうち1時間に50mmまでの降雨は川で安全に流し、それを超える降雨に対して、15mm分は環状七号線地下調節池のような調節池で対応し、10mm分は流域対策、浸透マスや浸透トレンチといった雨を地下に浸透させる施設で対応することになっている。そのため、今回の区間においても、1時間に50mmまでの降雨を流せる河道の整備事業を行う。

質問2 現状では何mmの雨まで対応可能なのか？

回答2 現在は1時間に30mm相当の雨が流せる断面の大きさとなっている。

### 【事業スケジュールに関する質問】

質問3 用地に関する説明会や個別の用地折衝はいつ頃を予定しているのか？

回答3 測量、用地取得、下流区間の整備状況によりスケジュールは変わってくるため、明確なスケジュールは提示できないことをご理解いただきたい。  
東京都としては、事業認可については令和6年の年末頃に取得し、令和6年度

末頃に用地に関する説明会の開催することを目標にしている。その後は、本事業区間を10年間で整備を進めていく予定である。これは現在事業中の下流区間が約540mで約20年かかっていることを踏まえた想定である。

質問4 今後のスケジュールや進め方は、この場で細かく質問するより、後日問い合わせた方が良いのか？

回答4 今後の進め方等に関しては個々の状況を確認しながら回答することになるため、詳細は後日問合せさせていただきたい。

質問5 国の認可がまだ下りてないのであれば、計画が延期する可能性はあるのか？

回答5 東京都としては、令和6年度に事業認可の取得を考えている。本事業は用地を取得できないと進まないため、用地交渉を着実に進めていきたい。

質問6 用地折衝・協議がすべて終わらないと工事着手はしないのか？

回答6 一定の区間で用地取得に協力いただけた段階で工事を始める。

質問7 工事着手までに概ね10年かかるという理解で良いか？また、工事内容の説明から工事着手まではどのくらい時間がかかるのか？

回答7 約10年間というのは本事業区間250mを工事するのにかかる期間である。工事内容の説明を行ってから約10年間となるが、その説明時期は用地の取得状況によって大きく変わってくるため、現時点では時期を申し上げられない。工事内容の説明から工事着手までは早ければ半年以内では進んでいくと考えている。

#### 【測量に関する質問】

質問8 説明資料11ページに記載されている250m区間の両岸の赤い線は用地取得する範囲を正確に表しているのか？

回答8 用地取得範囲を正確に表している線ではない。測量調査を行った上で確定するため、測量については是非協力をお願いしたい。

質問9 計画幅杭点は何メートル間隔で設置していくのか？

回答9 20m間隔である。

## 【用地折衝・用地取得に関する質問】

質問 10 用地取得のスケジュールは未定とのことだが、先を見越してやるべきことはあるのか？それとも用地の折衝まで待ってれば良いのか？

回答 10 用地測量で範囲を確定させるが、現在の護岸から約4 mの範囲（河川と民地の境界にある柵からは約3 mの範囲）が事業用地として取得する目安となる。例えば、建物の基礎が入っている可能性があるなど、できる範囲で現地の状況を把握しておいていただくと、東京都の調査がより正確なものとなるためご協力いただきたい。

質問 11 用地取得範囲に入ることがわかった後、家を建て直す場合にはセットバックしておいた方が良いのか？それとも、建て直し自体をやめて、工事着手まで待っていた方が良いのか？

回答 11 建替え等の具体的な事情については、個別に相談していただきたい。

質問 12 工事の開始時期がわからない状態でセットバックする意味はあるのか。時期は未定だが工事が控えているため、自身で何かするのであれば覚悟を持ってやってほしいということか。

回答 12 建替え等の具体的な事情については、個別に相談していただきたい。

質問 13 アパート併用住宅であるが、今の入居者や新たな入居者に対してオーナーとして説明する必要があるのか？

回答 13 今後の河川工事に向けて来年度から東京都が測量調査に入ることをお伝えいただきたい。

質問 14 本事業区間で用地折衝の対象になるのは何軒あって、どれぐらい折衝期間がかかる見込みなのか？

回答 14 地図で数えると数十軒ほどであり、今後、詳しく権利関係を調べていく。折衝期間については、個々の事情によるところが大きいので、一概にお答えできないことをご理解いただきたい。

質問 15 現在、賃貸で住んでいるが、いつまで住めるかが問題である。参考に下流区間では、用地折衝開始から工事着手までどのくらいかかっているのか？

回答 15 用地折衝を進めていく中で、大家さんとは引き渡しの時期や借家人への補償の内容について調整を進めていく。この段階になると具体的な内容をお示しできるが、現時点ではお伝えできないことをご理解いただきたい。

質問 16 入居者には本事業の内容や今後の工事や用地取得の目途の話をする必要がある。建物の修繕も検討していく必要があるため、目途が立った時点で早めに入居者へも含めて通知してほしい。

回答 16 今後の調査や用地折衝など各段階で皆さんにご協力いただく部分が多々あるため、東京都で周知等をしっかりとやっていきたい。

### 【今後の工事内容に関する質問】

質問 17 寿橋から富士見橋の事業区間をどちら側からいつ工事を始めるのか？

回答 17 現時点では寿橋の方から進めていくことを考えている。現在、寿橋の迂回路整備について調整中である。この調整が整わない場合は、現道を活かしながら工事を進めることも考えていくが、お伝えできる状況になった際に改めて説明させていただく。

質問 18 富士見橋の架け替え時は迂回路をどこに設置するのか？

回答 18 富士見橋の迂回路は設置する必要があると考えているが、設計はこれからである。今後、迂回路設置に必要な用地について関係者にご相談させていただくことがあるかもしれないため、その際は協力をお願いしたい。

質問 19 新たな管理用通路は一般の方も通れるのか？

回答 19 河川管理用通路は、緊急車両の通行、河川の巡視、護岸の維持管理などに必要な通路であるが、整備完了後は下流側と同様に地元に対して開放する予定である。歩行者と自転車は通行できるが、一般の乗用車は入れない。ただし、河川を維持管理する車両が入ることはある。

質問 20 用地買収により建替えになった場合に接道条件を満たせず建替えられないことはないのか？

回答 20 管理用通路は、河川を維持管理するための通路であり、公道ではなく、建築基準法上の接道要件には該当しない通路である。周囲の区道で接道要件を満たしていれば建替えについては可能であると考えられる。詳しくは各区の建築主事に確認してほしい。

質問 21 河川の管理用通路側に家からの出入り口を作って良いのか？

回答 21 管理用通路側からでない住宅が管理できないなど、やむを得ない事情がある場合に限り認めている例はある。日常利用となると現時点では個別に事情を確認しないと答えできない。

## 【現在の事業区間に関する質問】

質問 22 現在実施している寿橋下流区間の工事はあと何年ぐらいかかるのか？

回答 22 概ね令和10年度までの完成を目指している。寿橋下流の工事が完了するまでの間に、今回の事業区間において測量調査や用地取得にご協力いただき、下流に引き続き工事に入っていくことを考えている。

質問 23 寿橋下流の区間は、何年も河川上に仮栈橋を設置したままで、工事が迅速に進んでいないと感じている。本郷橋はいつ開通し、工事はいつ終わるのか？

回答 23 本郷橋については令和6年3月に開通予定で、本郷橋と柳橋の間の管理用通路については令和6年10月頃に開通予定である。今年の10月頃になれば本郷橋と柳橋間の仮栈橋は全て撤去できる。

一方で、本郷橋から上流については、これから工事を進めていくことになるため、現在と同様に河川上に仮栈橋がある状況が続く予定である。

これまでの工事で契約不調もあり、当初予定より進捗が遅れているため、工事の進捗は適宜、情報提供していくよう心掛ける。引き続きご協力をお願いしたい。

質問 24 本郷橋ができたなら寿橋までの工事はどのように車両が入るのか？

回答 24 現在、搬入路の確保のため関係者と調整中である。決まった段階で改めて説明させていただく。

質問 25 寿橋までで整備が残っている区間は80m程度あると思うが、何が原因で5年間もかかるのか？

回答 25 原因の一つとして搬入路の問題があり、神田川にアクセスする道路が狭いため、搬入路を確保するための調整で時間を要している。

## 【事業に関する意見】

意見 1 用地取得範囲には入っているため準備を進めておきたいと考えていたところであるが、概ね10年というスケジュールが確認できて良かった。過去に水害に遭っており、治水対策は非常に重要なことと考えているため協力したい。

以上